

令和2年10月29日

教員の皆様へ

令和2年度秋学期における対面授業実施拡大について

学長 笠原清志

跡見学園女子大学では新型コロナウイルス感染拡大のために今年度の授業を例年より1ヶ月遅い5月11日からとし、すべての授業をオンラインで実施いたしました。教育の原点が教員との出会いであり、共に学んだ友人との交友関係にあるということはよく知られています。コロナ禍の問題は予断を許しませんが、罹患者数が減少し落ち着き始めた状況に鑑み、秋学期当初から対面授業を行っている一部の科目（土曜4限、補講期間や集中講義期間に対面授業を行う科目）に加えて、以下の科目について、11月9日を目処に対面授業日程表に基づき、対面授業を実施します。

- 1) 4・3年生の演習（ゼミ）
- 2) 1年生のプロゼミ
- 3) 2年生の「研究入門」（文学部）及び「実践ゼミナール」（マネジメント学部）
- 4) 大学院の授業

《対面授業の実施方法》

- ・3密回避等の感染症拡大防止策を講じるため、学部・学科ごとに対面授業を行う週を指定して実施する予定です[対面授業日程表を参照]。
- ・上記以外の科目で、観光コミュニティ学部の「基礎ゼミナール」は集中授業扱いとなっているので、対面授業を行う旨を学生に指示してください。
- ・心理学部の2年生については、秋学期に「研究入門」及び演習（ゼミ）が配当されていないため、対面授業は行いません。
- ・対面授業に参加できない学生がいる場合、教員はリアルタイム配信等を併用し、双方向性を確保した授業を行うか、または個別にオンデマンド（動画や音声の配信または課題提示等）での対応を行い、課題提出等をもって出席としてください。
- ・対面授業の実施方法については、12月上旬を目処に見直しを行うことがあります。

《対面授業を実施する教員への対応》

- ・教員が対面授業を行う演習（ゼミ）の前後の時間に、オンライン授業を支障なく行えるように、必要な場所や環境を用意します。原則的には演習（ゼミ）等を行った日は、その教室でその前後のオンライン授業が行えるようにします。
- ・教員のハイブリッド授業（特に、双方向性を確保できる「対面授業＋リアルタイム授業」）

の実施をサポートするための機材（スピーカー・マイク、カメラ、プロジェクター等）の各教室への配備を促進します。

《感染予防対策》

- ・感染拡大の防止のため、キャンパス内の教室等の 3 密対策をはじめとする感染拡大防止対策に万全を期します。
- ・今後の感染拡大状況の変化によっては、再びすべての週について「オンライン授業」に戻す決定をする場合があります。

補記

- 1) 上記の措置は令和 2 年度秋学期の授業に関するものです。令和 3 年度春学期以降は、別の前提条件での判断となります。
- 2) 学生へは《対面授業に関する注意事項、感染予防対策》として下記の連絡をしています。

《対面授業に関する注意事項》

- ・演習（ゼミ）等の対面授業の前後に、Wi-Fi 環境が整っている教室（自習室）で、持参したノート PC やタブレット等でオンライン授業を受講できるようにします。その際は、ヘッドセットを持参してください。ノート PC やタブレットを持っていない学生は、学内の PC 教室での受講も可能とします。

《感染予防対策》

- ・感染拡大の防止のため、キャンパス内の教室等の 3 密対策をはじめとする感染拡大防止対策に万全を期します。
- ・今後の感染拡大状況の変化によっては、再びすべての週について「オンライン授業」に戻す決定をする場合があります。

以 上